

シーニックバイウェイ北海道の本格的展開に向けた検討について

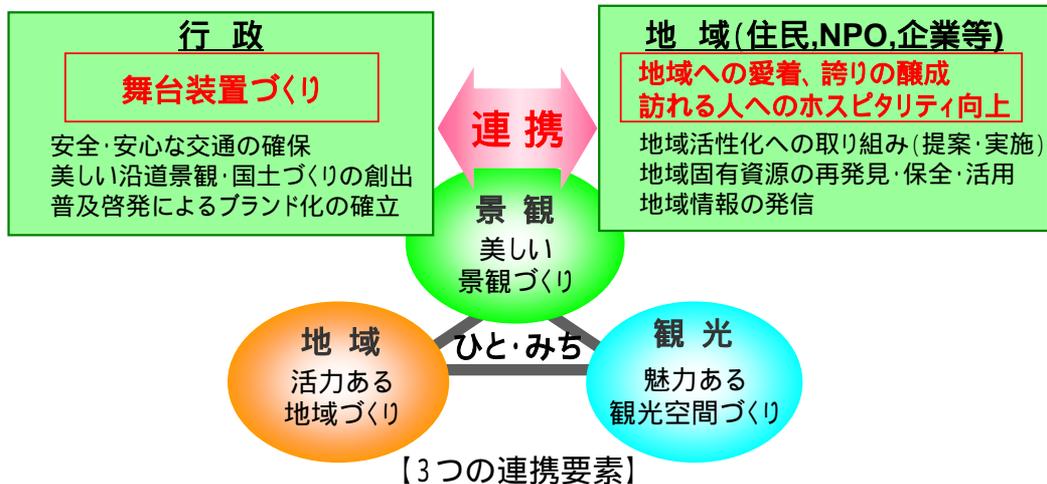
シーニックバイウェイ制度導入の目的

- ・美しいツーリング環境の創造
- ・個性的な地域環境の創造
- ・美しく誇りが持て活力ある地域の創造

シーニックバイウェイとは？
「シーニックバイウェイ制度」とは、そもそもアメリカで始まった道を通して地域資源の保全・整備を行い観光振興を目指すプログラムです。
「シーニック」とは英語のシーンの形容詞(SCENIC)、「バイウェイ」とは「BYWAY」、つまりわき道のことを指しています。アメリカでは1989年にシーニックバイウェイ法が制定され、現在96箇所が連邦政府からシーニックバイウェイとして指定を受けています。

制度の理念

「シーニックバイウェイ北海道」とは、沿道景観の優れたルートにおいて、地域と行政が連携し、沿道景観の保全・改善による「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」を行う施策です。



本格的展開に向けた検討

平成17年度からの本格的な展開に向け、「北海道におけるシーニックバイウェイ制度モデル検討委員会」において制度のあり方について検討しています。

検討経緯

- 平成14年度 「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」の設置
- 平成15・16年度 2つのモデルルートを選定し、NPOなどの活動団体と連携しながら、取組を行う
- 平成17年度 本格運用予定

2つのモデルルートと活動団体(平成16年度)
「千歳～ニセコルート」……21団体
「旭川～占冠ルート」……17団体
計38団体



主な取り組み

美しい景観づくり

沿道の植栽、清掃活動、景観の通信簿作成、等

道路沿道景観診断の取組



花いっぱい運動



【道路管理者による景観改善に向けた取り組み事例】
冬期の交通安全上、重要な役割を果たす矢羽根を夏期限定で一時的に撤去

現況



試行イメージ



活力ある地域づくり

シンポジウム、講演会、イベントの開催、等

地域資源・文化・歴史の勉強会



ランクインフォラムの実施



魅力ある観光空間づくり

情報発信、観光マップ作成、等

体験型観光の実施



HPによる情報発信

